



1年生と2年生の総合的な学習

KAWARAプロジェクト

「普段の生活で見落としている“大切なこと”ありませんか?」という視点をもち、教科の「枠」を超えて、学校の敷地から飛び出します。地域の方々との交流により地域を理解し、地域の課題を発見。KAWARAプロジェクトは、教科のテストのように「全問正解100点!」を目指すのではなく、絶対的な正解はないという前提に立ち、課題解決に向かって自分と仲間と一緒に考え、実践を通して学ぶ活動です。

1年次

「江津今昔物語」

「江津未来物語」

「江津今昔物語」では、学校や街並みに関する「昔の写真」を集め、それと比較できるよう同じ撮影地点を探し出し「今の写真」を撮影します。地域住民の方への取材を通じ地域理解を深め、「壁新聞」と「江津今昔写真アプリ」を作成し発表します。この活動により、江津高校や周辺地域の魅力や課題を再発見し、学校や地域のことをより深く知ることができるだけでなく、江津市の観光ツール開発にも貢献します。

「江津未来物語」では、地域の魅力向上・地域課題の解決のためには、「何をすればよいか」という具体的なアクションプランを考え、発表します。自分たちがこれからも暮らしていくまち、活躍するこの地域の未来を、自分たちの手で創っていきましょう。



写真についてヒアリングする様子



アプリと同時に壁新聞も制作



有福温泉の今昔



今昔

JPX起業体験活動

「JPX起業体験活動」は、中学生や高校生を対象に、模擬店ビジネスを行う株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする日本証券取引所の起業教育プログラムです。江津高校では、このプログラムに独自性を加えて、地域住民の方の声やニーズを元に、地域課題を調査し、それを解決する商品やサービスを考案し、それらの販売活動を行います。

ビジネスプラン審査会では、行政・地元金融機関・起業家らによって構成される審査員からコメントをもらい、商品やサービスをブラッシュアップして、実際の販売に臨みます。商品やサービスの考案から販売までの一連の活動では、チームメイトと探究活動を行います。ビジネスは計画通りに進みません。困難な状況・想定外の事態が起こった時、なぜそうなったのか、その時どう思ったのか、何を考えたのかを深く考え方分析し、発表します。



企業訪問 鮎養殖の見学



販売サービス体験 鮎だしラーメン

column 高校時代の“あつたらいいな”を叶えました!

お洒落なカフェで学校帰りに恋バナするのに憧れた高校時代。ジュースを片手に海沿いで語るのが精一杯でした。いつか二人でカフェを開きたい!とそれぞれ都会に出て、改めて地元の魅力に気づき江津で夢を実現できた今、江津の町とひとが繋がる場所にしていきたいです。

徳田恵子さん(左)・佐々木香織さん(右)
(平成20年度卒)

K Stand Talking
(江津駅前・カフェ)

3年次

へ…総合学習の学びはこれからも生かされる!

総合的な学習の時間

本校の「総合的な学習の時間」の目標は、「地域・社会に積極的に関わり、視野を広げ、思考力の深化、総合化を図る。また、地域・社会の課題を自ら考え、それを表現することによって、キャリア教育の一環として主体的に自己の将来を考えさせる。」ことです。教科の「枠」あるいは学校の「枠」を超えて学ぶことを「総合的な学習の時間」として扱います。1年生では、宿泊研修・島根大学訪問・進路サポート(将来関わりたいことに関する作文)などの活動に加え、KAWARAプロジェクトの「江津今昔物語」・「江津未来物語」を通して学びを深めています。2年生では、上級学校・企業訪問・進路サポート(志望理由書または自己PR文作成)などの活動に加え、「JPX起業体験活動」を通して学びを深めています。3年生では、最終的に「受験」と向き合う中で「自己の将来」について学びを深めています。平成30年度より、KAWARAプロジェクトは島根県の教育魅力化推進事業として行なっています。

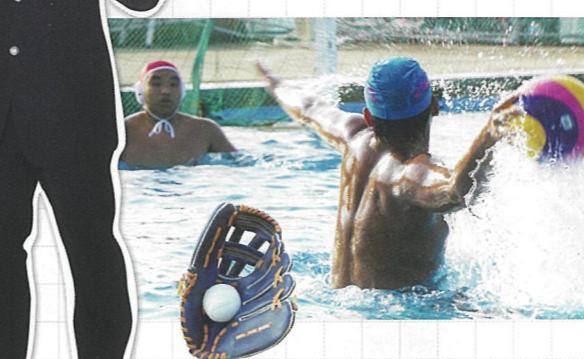
KAWARAプロジェクトとは

社会が目まぐるしく変化する現代、目の前にある課題の「正解」を探すのではなく、課題解決に向けて改善や修正をして得られる「修正解」や多くの人が納得するような「納得解」などを見出していく力が重要です。

江津高校では、江津の課題を発見(FIND)し、その解決に向けたアイデアを考え(THINK)、プランを練り(PLAN)、実践(DO)を通したなかで学びます。その活動で「修正解」や「納得解」を見出すための力を培っていきます。一人ではどうすることもできないことでも、仲間との「集合知」によってアイデアやプランが生まれます。様々な価値観を理解すること、相手の意見を尊重すること、誰かと協働すること、チームで解決することを体感していきます。KAWARAプロジェクトの活動で得た知識・経験は、よりよく生きる・暮らす・働くために、きっと役立つことでしょう。さらに、「暮らしている地域と社会への理解を深める」「自分自身への理解を深める」「将来どのように社会との関係性を築いていくのか」という3つの「探究」を通して、将来関わりたいテーマを設定し志望理由書または自己PR文を作成。進路希望を固め、自身の受験と向き合い、次に活躍するステージへと進んでいきます。



島根県で唯一の水球部!



運動部

男子ハンドボール部
水球部
硬式野球部
サッカー部
男子ソフトテニス部

女子ハンドボール部
女子バレーボール部
女子ソフトボール部
女子ソフトテニス部

江津高校なら…
部活も楽しめる!



文化部

吹奏楽部
茶道部
生活科学部
神楽愛好会
芸術部(書道・芸術)

やっぱり石見神楽でしょ!



各部の主な大会成績 平成28~30年度

- 男子ソフトテニス部:中国大会県予選(H28団体ベスト8、H29団体ベスト8)、県総体(H29団体ベスト8)
- 女子ソフトテニス部:中国大会県予選(H29ベスト8)、中国大会(H29個人)、県総体(H29団体ベスト8・個人ベスト16)、県選手権(H28個人ベスト16)、新人戦(H28個人ベスト8)
- 男子ハンドボール部:中国大会(H28,H29,H30)、全国高校総体(H29二回戦進出、H30二回戦進出)、全国選抜大会中国予選(H28、H29準優勝)、全国選抜大会(H29)
- 女子ハンドボール部:中国大会(H28,H29,H30)、全国高校総体(H30)、全国選抜大会中国予選(H28,H29,H30)
- 硬式野球部:春季大会(H28ベスト16)
- ソフトボール部:県選手権(H30三位)
- 水球部:国体中国ブロック(H30五位)、全日本ジュニア県予選(H28五位)
- 女子バレーボール部:中国大会県予選(H29ベスト16)、県総体(H30ベスト16)
- 吹奏楽部:県吹奏楽コンクール(H28金)
- 神楽愛好会:高校生の神楽甲子園(H28,29神楽伝承奨励賞)

部活動にかかる年間費用について

●遠征や備品購入などを度徴収するものを除いた主たる部活動における概算年額です。詳しくは学校までお問い合わせください。

運動部

- | | |
|------------|---------|
| ●男女ハンドボール部 | 40,000円 |
| ●硬式野球部 | 70,000円 |
| ●男女ソフトテニス部 | 30,000円 |
| ●女子ソフトボール部 | 無し |
| ●水球部 | 40,000円 |

文化部

- | | |
|-------|---------|
| ●吹奏楽部 | 30,000円 |
| ●茶道部 | 5,000円 |

在校生×保護者さん、
江津高校の「リアルトーク！」

江津高校の在校生、 普段の過ごしかた！

もし、あなたが江津高校に入学しようか迷っているとしたら、このページに書かれていることが一番参考になると思います。それは、カッコつけたり、盛りたりすることなく、リアルな声だからです。毎日楽しく高校生活を過ごせるだろうか、そんな不安に3組の在校生とその保護者が答えてくれました。

学校での過ごしかた

先輩・後輩の仲の良さが 強さの秘訣！

所属しているハンドボール部では、先輩と一緒に強いチーム作りについて話し合っています。一年生の自分もチームの一員だと感じられます。江津高校の生活では、様々な場面で自分たちで方向性を決めて、前に進めていく充実感があり、わくわく過ごせていると思います。

「楽しい・好き」が 見つかる高校です

子ども自身が、江津高校は楽しいと言っています。「楽しい」というのは、先輩と後輩の人間関係が部活動の中はもちろん、部活動以外の日常生活でも、気軽に話しかけてくれるからだそうです。入学後、「身体を動かすことが好き」というわくわくすることを見つけて、小さい頃から憧れていた消防士という夢に、保健体育の教諭にも関心が広がっているようです。

江津高校を選んだ理由

STUDENT



平成30年度入学生
江東中出身
永井 輝くん

STUDENT



平成30年度入学生
桜江中出身
湯浅 美優さん

学校での過ごしかた

学校で過ごす毎日がわくわくしています！

高台にある江津高校の校舎から眺める夕陽は、市内のどこよりもインスタ映えします。在校生は同級生も先輩も、全員顔を覚えて仲良く話せるくらいの人数でちょうど良いです。部活動も盛んで、学校行事も多く、みんなと力を合わせて作り上げていく時が楽しくて、自分らしさを感じることができます。

FAMILY



湯浅 美優さんの母親
順子さん

落ち着いて勉強できる環境の秘密は フレンドリー感

江津高校に通っていた美優の兄から「先生と生徒、生徒同士、どちらも仲が良い」と聞いていたので、不安はありませんでしたし、本人も家族に部活のことや友達のことを楽しそうに話してくれます。生徒数が少ないことは、むしろ男女隔てなく子供たち同士の絆が深くなるという長所にもなるようです。

江津高校を選んだ理由

STUDENT



平成30年度入学生
青陵中出身
二本木 そよさん

学校での過ごしかた

全員で何かできるって、すごく楽しい！

江津高校の先生方は、話しかけやすく、一人ひとりにきちんと向き合ってくださり、勉強のことや部活動のことも丁寧に教えてもらえない不安はありません。生徒数も少なめで全校生徒が仲良しです。小さい頃から続いている部活動のバレー・ボーリーに限らず、みんなと一緒に身体を動かすことに、今はわくわくしています。

FAMILY



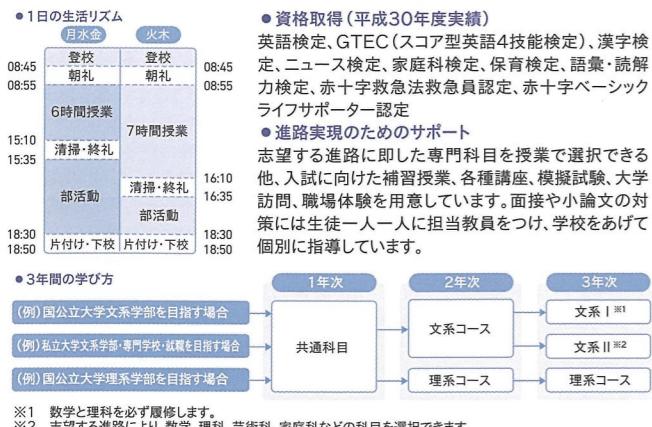
二本木 そよさんの母親
弘美さん

地元高校を選ぶのには理由があります

学校が近くで通学時間が短くて済むのは、勉強や部活に夢中な娘にとって「負担が少ない」と考えました。他校に入学して寄宿舎に入ったお子さんの中には、寂しがっているとも聞きますので、子の様子がわかる分、親としては安心です。江津高校を卒業した兄も、大学受験の際に先生方が親身になってサポートしてくださいました。

江津高校を選んだ理由

1日の生活リズムと3年間の学び方



高校生活の必要経費詳細

授業料他(平成30年度新入生実績)

入学料が5,650円、授業料は月額9,900円(島根県の支援金制度を活用できます)です。学年によって異なりますが、PTA諸会費(会費、冷房設備リース経費、進路指導費等)、生徒会費、教材費等が年額約155,000円で月毎に分けてお預かりしています。教科書・副教材費(国語の辞典を除く)は約26,000円です。

制服(平成30年度新入生実績)

夏服と冬服各1着ずつを、ともにスラックスタイプとすると約53,000円、スカートタイプとすると約55,000円です。この他、体操服や体育館シューズ等が約30,000円です。

PTA活動

5月のPTA総会、年2回の役員会を経て、焼き出しやバザーで学校行事を盛り上げ、除草作業や広報活動、各種研修会の運営と参加によって会員相互の親睦を深めています。

過去5年の主な合格校

- 国公立大学 大阪大学、和歌山大学、鳥取大学、島根大学、山口大学、愛媛大学、九州工業大学、佐賀大学、九州歯科大学、島根県立大学、長岡造形大学、福知山公立大学、兵庫県立大学、鳥取環境大学、福山市立大学、尾道市立大学、山口県立大学、北九州市立大学、宮崎公立大学、長崎県立大学
- 私立大学 明治大学、東京理科大学、専修大学、大妻女子大学、同志社大学、関西学院大学、立命館大学、龍谷大学、大阪体育大学、武庫川女子大学、環太平洋大学、岡山理科大学、吉備国際大学、福山大学、福山平成大学、比治山大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、広島文化学園大学、広島文教女子大学、安田女子大学
- 短期大学・大学校 島根県立大学短期大学部、新見公立短期大学、鳥取短期大学、川崎医療短期大学、比治山大学短期大学部、広島文化学園大学短期大学部
- 看護医療系専門学校 島根県立石見高等看護学院、浜田医療センター附属看護学校、リハビリテーションカレッジ島根、島根リハビリテーション学院、島根県歯科技術専門学校、松江総合医療専門学校
- その他の専門学校 島根職業能力開発短期大学校

過去5年の主な就職先の概要

- 県内公務員 島根県警察、島根県警察事務、江津邑智消防組合
- 県外公務員 陸上自衛隊、大阪府警察、新見市消防
- 県内民間企業 日本郵便株式会社、邑智森林組合、株式会社丸惣、大迫組、ドクターリセラ株式会社、島根整枝学険学園西部島根医療センター、島根合板株式会社、嶋田窯、有限会社よろこぼうや、第一稀元素化学工業株式会社、日本パーカーライジング株式会社、マルハマ食品株式会社、医療法人社団水澄み会、社会福祉法人たちはな苑、株式会社ケー・エフ・ジー

江津高校生は
地元企業に愛されています！

GRADUATE



島根大学在学
平成29年度卒業生
江津中出身
島井 夏希さん

学生生活を振り返って

幼なじみの存在に感謝

うまく学校にはじめるかすごく不安でしたが、小学校や保育所からの友人もいたので、自分のことをよく分かってくれている友人に支えられながら、高校生活を過ごすことができました。また、高校からの友人もたくさんでき、かけがえのない大切な友を作ることができました。

江津高校だからこそ脱皮できた

中学時代とは様変わり、新しい友人もたくさんでき、今でも交流が続いている幼なじみの友人もいます。小学校のスイミングスクールで一緒だったS君は、中学校こそ別々でしたが、高校でふたたび一緒に、切磋琢磨してた様子。先生も親身になって支えていただき、古生物を学びたいという夢を叶え、大学進学できました。

保護者として思うこと

FAMILY



島井 夏希さんの父親
勇二さん

学生生活を振り返って

逃げていたら今僕はなかった

島根大学在学
平成29年度卒業生
大田西中出身
白石 悠人さん

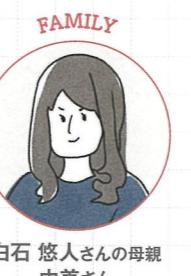
学生生活を振り返って

苦しい時を一緒に乗り越えた同級生、家族・先生方、そして地域の皆さん、多くの人に支えられた3年間でした。中学生時代は、苦手なことや億劫に思うことから目をそらしていた自分が、江津高校では生徒会長になりましたり、インターハイ出場も実現。苦手な数学を克服して島大進学も叶った。高校入学・大学入学はゴールではなく夢実現のスタートだと思う。

親は背中を押すだけでいい

家庭の中での会話を通して、我が子が力を出せる方向を見つけてやったり、好きな道、やっていけそうなこと、高校の先につながる仕事のことなど見えてくるものがあると思います。あとは背中を押すだけ。保護者の評判どおり江津高校は雰囲気が柔らかく生徒も穏やか、勉強だけでなく部活動や地域とのつながりも深く、わが子に合っていました。

保護者として思うこと



白石 悠人の母親
由美さん

FAMILY



森脇 杏菜さんの父親
剛祐さん

保護者として思うこと

GRADUATE



大妻女子大学在学
平成29年度卒業生
青陵中出身
森脇 杏菜さん

学生生活を振り返って

ソフトボールと勉強を両立できた

管理栄養士を目指して大学進学を志し、高校は江津高校に決めました。部活動ではプレーだけでなく、日常の生活で笑顔で挨拶することや勉強を両立させることで部でのルールでした。おかげで努力する事の大切さを実感し、精神的にも強くなり、今では何にでも努力してみようという気持ちで頑張ることが出来ています。

打席に立つチャンスあり

たとえ自己表現が苦手なお子さんでも、前向きに取り組む姿勢さえあれば、生徒数も多すぎず、どんどん役が回ってきて、成長するチャンスに恵まれます。本人も「江高に入学せずして今の大手進学はなし」と言っています。娘の進路希望を尊重してくれた江津高校の先生方に出会ったおかげです。

保護者として思うこと